



めざす人に向かって張り切る

学校長 村越 新

始業式で「今よりもっと〇〇な人になる」という目標を持つように話しました。そして、全校児童にそれを書く用紙を配布し、家で考えて書いてくることをしました。

期待を込めて、一部を紹介させていただきます。

【1年生の例】

- ・やさしい人
- ・健康な人
- ・心が強い人
- ・宿題をがんばる人
- ・頭がすごくいい人
- ・いい人
- ・テストで百点とる人
- ・あきらめない人
- ・根気強い人
- ・教科書をスラスラ読める人
- ・友達と家族を助ける人
- ・運動神経がいい人

【2年生の例】

- ・親切な人
- ・自分の意見を言える人
- ・心がきれいな人
- ・下の学年を助ける人
- ・苦手なことをがんばれる人
- ・協力できる人
- ・みんなと仲良しの人
- ・切り替えができる人
- ・歌声がきれいな人
- ・気持ち強い人
- ・忘れ物をしない人
- ・先生の話聞く人

【3年生の例】

- ・人を大切にすること
- ・勉強に熱心な人
- ・友達作りが得意な人
- ・計算が早い人
- ・道徳で発表できる人
- ・時間を守れる人
- ・困っている人に声をかけられる人
- ・体力がある人
- ・輝けるような人
- ・管理をきちんとできる人
- ・交通に気をつける人
- ・手を挙げる人

【4年生の例】

- ・感謝ができる人
- ・自分の考えを言える人
- ・忘れ物0の人
- ・人の役に立てる人
- ・年下のお手本となる人
- ・上手に話せる人
- ・人のことを気にかける人
- ・人を助けられる人
- ・勇気がある人
- ・いろいろな人に認められる人
- ・進んで取り組める人
- ・スタミナがある人

【5年生の例】

- ・友達を大事にする人
- ・挑戦できる人
- ・気配りができる人
- ・何事もあきらめない人
- ・笑顔があふれる人
- ・すぐ実行できる人
- ・体調管理ができる人
- ・冷静に考え行動できる人
- ・成長できる人
- ・自分の意見を主張できる人
- ・課題や質問を出せる人
- ・深く考えられる人

【6年生の例】

- ・言葉使いがていねいな人
- ・人に好かれる人
- ・行動力のある人
- ・積極的に挑戦する人
- ・空気が読める人
- ・自信が持てる人
- ・自主的に行動する人
- ・長い間、集中できる人
- ・周りに気を使える人
- ・みんなが憧れるような人
- ・いつも元気でいられる人
- ・発信力がある人



学校給食週間



1月24日から1月30日までは全国学校給食週間です。給食のはじまりは明治22年、山形県鶴岡にある小学校とされています。戦争により一時中断されましたが、戦後再開されました。昭和21年12月24日に給食用物資の贈呈式が行われ、それ以来この日を「学校給食感謝の日」と決めました。その後、昭和25年度から冬休みと重ならない1月24日から1月30日までの1週間が「学校給食週間」となりました。

この期間は、学校給食の意義や役割について、児童生徒や教職員、保護者や地域住民の理解を深め、関心を高めることを目的としています。

学校給食の目的には、大きく2つがあります。「**健全な発達**のため増進、体位の向上を図ること」と「**食に関する指導**を効果的に進めること」です。

本校でも今週は、希望献立1位のメニュー（パン、ごはん、麺それぞれ）やセレクト給食があります。給食委員会は、先週から毎日、放送でクイズを出題してくれています。

コ食

以前、「コ食」についての話を聞いたことがあります。現代の子供たちをめぐる大きな問題になっているそうです。本来は、毎日楽しくおいしく、栄養を摂取するはずの食事ができないという、本当に深刻な問題なのです。

孤食（孤独、一人で食べる）

個食（家族と違う物を食べる）

固食（食べる物が固定化している）

粉食（粉製品ばかり食べる）

濃食（味が濃い物ばかりを食べる）

小食（食べる量が少ない）

戸食（外食中心、手作りの物を食べない）

虚食（食べない）

子食（子供のメニューばかり）

庫食（レンジでチンの物ばかり）

枯食（スナック、インスタントばかり）

己食（自己中心的な食事）

古色（賞味期限ギリギリの物ばかり） など

近年は、偏った栄養摂取等、子供たちの食生活の乱れや肥満・やせ傾向等がみられ、子供たちが食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付けることができるよう、学校でも食育を推進することが喫緊の課題となっています。

食に関する理解を深めることにより、効果的に子供の食に関する自己管理能力の形成を目指すことが重要となってきています。